

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	火災予防推進事業		
事業担当	消防本部 予防課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等	消防法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
災害発生の未然防止及び被害の軽減がされています。		市民の防火意識を高め、火災を未然に防止するため、防火キャンペーン等を実施し、住宅用火災警報器の設置促進のための広報活動を実施します。また、少年消防クラブの活動を充実し、少年・少女の防火意識の向上を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	火災予防パンフレット等配布部数			単位	部
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	2,000	2,000	2,000		
	実績	2,500	2,500	2,500		
活動指標②	指標名	各種イベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	3	3	3		
	実績	3	3	5		
成果指標①	指標名	火災発生件数(年間)			単位	件
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	85	85	80		
	実績	82	65	63		
成果指標②	指標名	各種イベント参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	1,500	1,500	1,500		
	実績	2,000	2,000	2,000		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
火災予防運動や防火キャンペーンで啓発活動を行いました。また、住宅用火災警報器の設置促進のための広報活動を行いました。年間計画に基づき少年消防クラブの活動を実施し、少年少女の防火意識の向上に努めました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	目的達成のため、継続して実施する必要があります。 ● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	火災予防運動や防火キャンペーンを継続することで、市民の防火意識が高まり、火災を未然に防止することに有効です。 ● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	火災を未然に防止するため、市民や事業所と連携して事業を推進することが大切です。 ● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民の安全・安心のため効果的な事業を行う必要があります。 ○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 子どもの言葉で火災予防の必要性を伝えることにより、全ての年代について効果的に普及啓発が出来るため、少年消防クラブの活動を充実させる必要があります。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		イベント実施、パンフレット配布、警報器設置促進、クラブ活動の充実	イベント実施、パンフレット配布、警報器設置促進、クラブ活動の充実	イベント実施、パンフレット配布、警報器設置促進、クラブ活動の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	151	129	138
事業費 (A)		151	129	138
執行率 (%)		99.34	84.87	85.71

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 秋季・春季火災予防運動を中心に防火キャンペーン等を実施し、市民の防火意識を高めます。また、住宅用火災警報器や感震ブレイカーの設置と適正な維持管理の推進を図るため、少年消防クラブ員がキャンペーン等に参加することで、子どもの声で防火を呼びかけ、啓発活動の効率を向上させます。
課長コメント 住宅火災の被害及び死傷者の軽減を目指し、住宅用火災警報器の設置と維持管理、感震ブレイカーの設置推進を継続します。また、防火キャンペーン等の広報活動に少年消防クラブ員が参加することで、子供の言葉で大人の責任を訴え、同世代の子供たちへ火災予防の大切さを伝えます。